



# SPSS OpenHouse 2003

15th  
Anniversary  
SPSS

2003年11月13日(木)～14日(金)  
東京ドームホテル

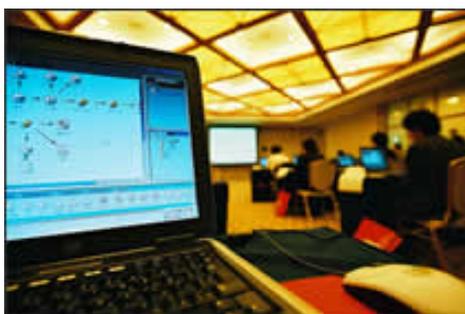
SPSSトップへ

HOME 開催概要 基調・特別講演 分科会 タイムテーブル お申し込み アクセス・宿泊 お問い合わせ

## 開催報告

### SPSS Japan 15周年を記念し、「産学協同」にフォーカス

「SPSS Open House」を、去る11月13日(木)・14日(金)の二日間、東京ドームホテルにて開催しました。1,000名の来場者を迎えての二日間、SPSS Japanが使命と定める「産学の橋渡し」をテーマに開催されたSPSSユーザーの祭典は活発なユーザー交流の場となり、盛況のうちに閉会しました。



### ■ ユーザーが示すSPSSの未来 ～SPSS Directions～

一日目は参加者を歓迎するOpening Address、「SPSS Directions 15年の軌跡---そして未来へ」で開幕しました。

残念ながら来日できなくなったSPSS Inc. CEO ジャック・ヌーナンに代わり、SPSS Inc. アジア・パシフィック担当副社長 ジョン・ピーターセンが、SPSS Inc.の35年間・日本オフィス15年間の歩みをご紹介します。ピーターセンよりバトンを渡されたSPSS Japan 上級副社長 村田悦子は、ビデオにまとめたユーザーインタビューとWebサイトで行った「15周年記念ユーザーアンケート」結果より、アカデミックユーザーに後押しされてきた過去を振り返り、将来に向けての抱負を語りました。



ジョン・ピーターセン

「SPSS Directionsのその先にはみなさんの成功があります。日本のPredictive Analyticsの先頭に立っているのがSPSSユーザーの皆さまです。SPSSはこれからも産学の橋でありつづけます。橋の往来がどんなに活発になっても支え続けられる『安心できる橋』でいると同時に、兩岸のコミュニティ内の活性化も見守り続けていきたいと願っております」(村田悦子)



村田 悦子

## ■ 産学両分野から20本以上の研究・事例発表

早稲田大学 豊田 秀樹 先生の基調講演、大阪大学 狩野 裕先生・明治学院大学 清水 聡 先生の特別講演をはじめ、大学および、さまざまな業界からの事例発表が行われました。学術研究事例から、品質管理・CRM・市場調査など各分野におよぶビジネス利用まで、幅広い意見交換が行われ、SPSSが目指す「産学の橋渡し」を体感いただけたことと思います。

分科会と並行して行ったハンズオン・ワークショップには多くの参加者が集まりました。会場設備の都合で全ての希望者に受講いただけなかったことをお詫び申し上げます。

また、今年新設の「SPSS ShowRoom」では、新製品紹介を行うミニシアターに、多い時には60名以上の方にお集まりいただきました。色とりどりのプログラムの中、一息つく場として、またSPSSスタッフと個別にお話いただく場として参加者の皆さまにご活用いただき、「続けてほしい」との声を頂戴しました。



基調講演の豊田秀樹先生



SPSS Showroomミニシアター

## ■ 未来のSPSSユーザー ～盛り上がりを増す学生参加～

3回目を迎えた「インテージ協賛 SPSS Open House研究奨励賞」は、年を追うごとに盛り上がりを増しています。今年よりコメンテーター制を取り入れた受賞論文の口頭発表会場は100名の聴講者を集め、学生間でも活発な質疑応答が繰り広げられました。また、ポスターセッション会場では、審査委員会によって選ばれた14本の論文が展示され、来場者の投票によって「SPSS Open House参加者特別賞」も選ばれました。

レセプションでは講演者に対し熱心な質問をする学生の姿も見られ、運営事務局には参加した学生から「SPSSが身近になりました」との嬉しいコメントも寄せられました。

[受賞及びポスターセッション展示論文はこちらからダウンロードいただけます。](#)



受賞者の皆様



ポスターセッション会場

## ■ ユーザー間の交流の場として

SPSSコミュニティを創っているのはユーザーの皆さまです。一日目のレセプション、二日目のCLUG ランチョンともに、ユーザー同士での情報交換をされている姿は、SPSSスタッフにとって大変嬉しいものでした。SPSS Open Houseという場を舞台に、楽しく、意義ある二日間であれば、と願っております。

今年ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。  
来年のSPSS Open Houseは11月9日(火)・10日(水)、東京ドームホテルでの開催を予定しております。より多くの方に、このSPSSコミュニティにご参加いただければ幸いです。

来年もまた、お目にかかれることを、社員一同楽しみにしております。



レセプションで乾杯の音頭をとる豊田先生



CLUGランチョン



